

地場企業の経営動向調査

[令和7年度第4四半期]

- ・調査期間：令和8年3月2日～3月16日
- ・対象：当所会員企業2,000社(任意抽出)
- ・回答企業数：305社(回答率15.3%)

令和8年4月23日
福岡商工会議所
総合企画部 企画広報グループ

目次

1. 調査概要 2P
2. 調査対象企業数及び回答企業の内訳(規模・業種別) 3P
3. 調査結果(概要・構成別D I) 4~13P
4. 付帯調査結果(生成A Iの活用状況) 14~15P

1. 調査概要

目的

福岡市内地場企業(一部福岡市近郊を含む)の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するため。

調査期間

令和8年3月2日～3月16日

対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出。

内訳：中小企業1,909社(構成比率95.5%)、大企業91社(構成比率4.6%)

<回答企業数> 305社、回答率15.3%

内訳：中小企業288社(構成比率94.4%)、大企業17社(5.6%)※詳細は3頁参照

方法

四半期毎に実施。FAX及びメールで調査票を送付。

内容

以下8項目について、前年同時期と比較した、令和8年1月～3月の実績、及び令和8年4月～6月の予想

①自社・業界の景況 ②生産額・売上額・完成工事高 ③原材料・製(商)品仕入価格 ④受注価格・販売価格 ⑤製(商)品在庫 ⑥営業利益 ⑦資金繰り ⑧当面の経営上の課題

2. 調査対象企業数及び回答企業の内訳(規模・業種別)

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果構成比
全業種	2,000	305	15.3%	
中小企業	1,909	288	15.1%	94.4%
大企業	91	17	18.7%	5.6%

建設業	356	70	19.7%	23.0%
土木建設業	146	31	21.2%	10.2%
建設付帯工事業	86	19	22.1%	6.2%
電気・管工事業	124	20	16.1%	6.6%

製造業	218	38	17.4%	12.5%
食料品製造業	52	11	21.2%	3.6%
繊維製品製造業	10	0	0.0%	0.0%
建材・木・紙製品製造業	10	4	40.0%	1.3%
印刷・製本業	47	4	8.5%	1.3%
窯業・土木製品製造業	9	1	11.1%	0.3%
金属製品製造業	21	2	9.5%	0.7%
一般機械器具製造業	24	6	25.0%	2.0%
電気機械器具製造業	22	6	27.3%	2.0%
その他製造業	23	4	17.4%	1.3%

サービス業	798	94	11.8%	30.8%
情報処理サービス業	110	13	11.8%	4.3%
その他事務所サービス業	384	48	12.5%	15.7%
ホテル 旅館 飲食業	106	11	10.4%	3.6%
その他の個人サービス業	198	22	11.1%	7.2%

卸売業	299	60	20.1%	19.7%
食料品卸売業	68	15	22.1%	4.9%
繊維製品卸売業	28	4	14.3%	1.3%
建材・住宅機器卸売業	39	9	23.1%	3.0%
金属・鋼材卸売業	5	0	0.0%	0.0%
一般機械器具卸売業	55	11	20.0%	3.6%
電気機械製品卸売業	9	2	22.2%	0.7%
石油・化学製品卸売業	11	3	27.3%	1.0%
その他製造業	84	16	19.0%	5.2%

小売業	216	30	13.9%	9.8%
食料品小売業	50	6	12.0%	2.0%
衣料品 身の回り品小売業	32	4	12.5%	1.3%
石油・化学製品小売業	12	4	33.3%	1.3%
車両運搬器具小売業	16	3	18.8%	1.0%
家電・厨房器具小売業	18	3	16.7%	1.0%
百貨店・セルフ店	4	0	0.0%	0.0%
その他小売業	84	10	11.9%	3.3%

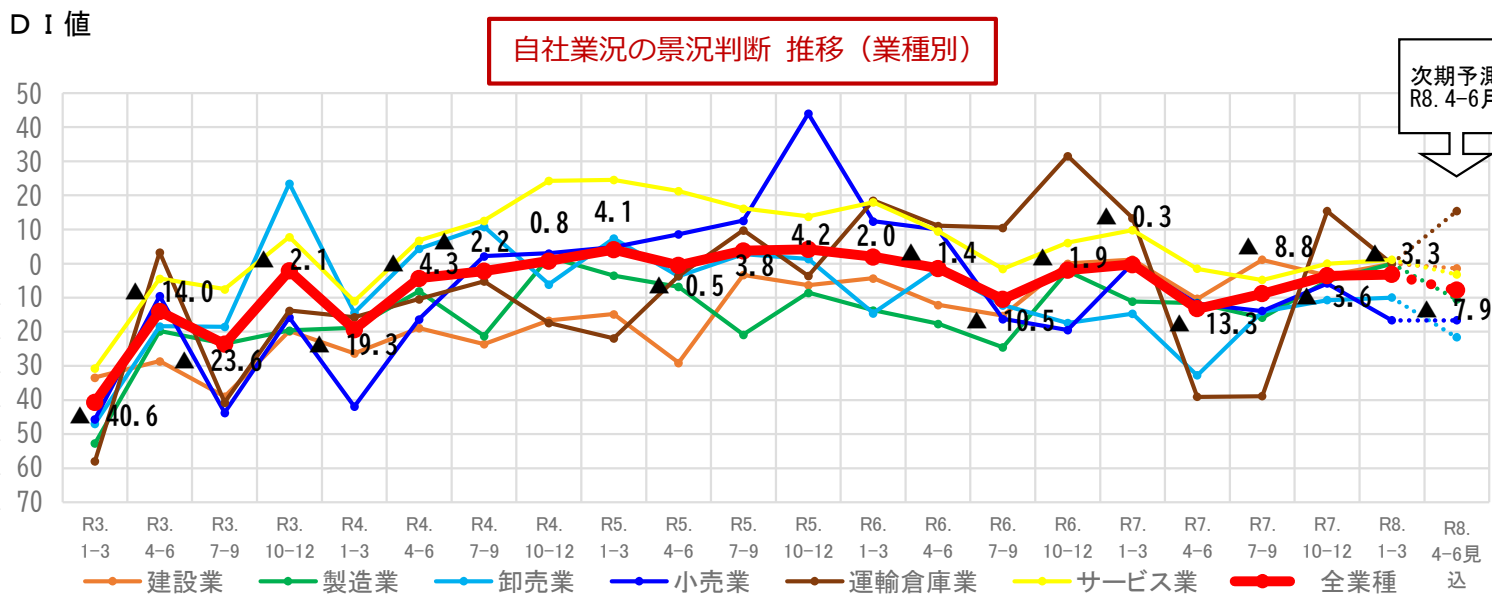
運輸・倉庫業	113	13	11.5%	4.3%
旅客運送業	37	4	10.8%	1.3%
貨物運送・倉庫業	76	9	11.8%	3.0%

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

3. 概要

令和7年度第4四半期の自社業況DI(全業種)は、持ち直しがみられるものの低水準。収益環境は厳しさが続く。

- ▶ 令和8年1～3月期の自社業況DI(全業種)は、▲3.3(前期比+0.3pt)とわずかな改善にとどまった。生産額・売上額・完成工事高DIが2期ぶりにマイナス圏に転じた。また、営業利益DIは前期比+8.5ptと改善の動きがみられるものの、▲11.1(次期予測値▲15.7)であり、依然として厳しい状況が続く。原材料・仕入価格DIは高止まりも落ち着きを見せる中、受注・販売価格DIは上昇し、価格転嫁の動きはうかがえるもののコスト増を十分吸収できていない。
- ▶ 次期(令和8年4～6月期)の自社業況DIは▲7.9(今期比▲4.6pt)と悪化見込み。調査時点で影響は限定的ながら、中東情勢の緊迫化に伴う原材料・エネルギー価格の上昇に加え、コスト負担の増加や消費マインドの冷え込みへの懸念から、先行きは慎重な見方が強まっている。
- ▶ 経営上の課題は「人材難・求人難・定着の悪化」が54.4%で最多を継続(13期連続)。また、前期と比較して「経費の増加」「受注、需要の減少」「販売価格への転嫁難」を挙げる企業が増加した。



業種別	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	▲ 3.6	▲ 3.3 (+0.3)	▲ 7.9
建設業 n=70	▲ 3.5	0.0 (+3.5)	▲ 1.4
製造業 n=38	▲ 5.1	0.0 (+5.1)	▲ 10.5
卸売業 n=60	▲ 10.8	▲ 10.0 (+0.8)	▲ 21.7
小売業 n=30	▲ 5.9	▲ 16.7 (-10.8)	▲ 16.7
運輸倉庫業 n=13	15.4	0.0 (-15.4)	15.4
サービス業 n=94	0.0	1.1 (+1.1)	▲ 3.2

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

構成別DI (全業種)	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
生産額・売上額・完成工事高	0.0	▲ 2.0 (-2.0)	▲ 3.9
原材料・仕入価格	56.0	54.8 (-1.2)	53.4
受注価格・販売価格	18.8	20.0 (+1.2)	21.6
製品在庫	0.9	▲ 0.3 (-1.2)	1.0
営業利益	▲ 19.6	▲ 11.1 (+8.5)	▲ 15.7
資金繰り	▲ 3.9	▲ 2.6 (+1.3)	▲ 4.3

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

- 食材・原材料価格の高騰は依然として続いている。販売価格の引き上げにより、足元の業績には一時的な落ち着きが見られるものの、最低賃金の引き上げを背景に賃金水準全体の上昇が見込まれ、コスト増加への対応として経営の効率化をさらに進めていく必要性を強く感じている。(サービス業：ホテル 旅館 飲食業)
- 原材料価格の上昇を受けた価格改定により、1～2月は駆け込み需要が見られたものの、3～4月はその反動により売上の減少が見込まれる。また、家賃の上昇や人材確保を目的とした賃上げによりコスト負担が増加しているが、その負担にも限界があり苦慮している。(製造業：建材・木・紙製品製造業)

順位	問題点	割合
1	人材難、求人難、定着性の悪化	54.4% (+3.2)
2	経費の増加	48.5% (+2.7)
3	受注、需要の減少	41.3% (+2.9)
4	原材料高、入手難	33.1% (-5.0)
5	営業利益の低下	30.2% (-0.2)
6	販売価格への転嫁難	28.2% (+2.0)

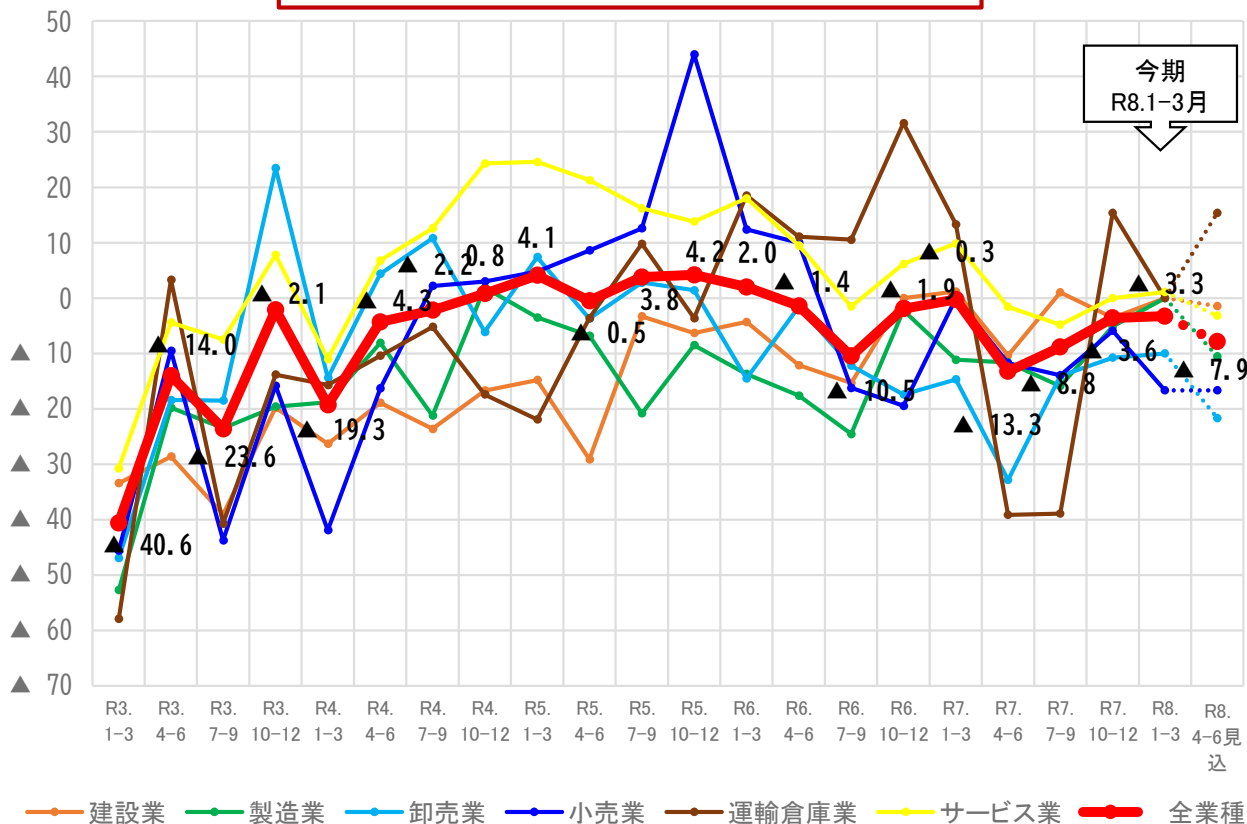
※()内は、前回(R7.10-12月期)調査比。

3-1. 自社・業界の景況

自社業況DI(全業種)は、ほぼ横ばい。次期は悪化する見通し。

- 令和8年1～3月の自社業況DIは▲3.3(前期比+0.3pt)とほぼ横ばいとなり、8期連続のマイナス値となった。
- 業種別では、製造業(前期比+5.1pt)、建設業(同+3.5pt)で改善した一方、運輸・倉庫業(同▲15.4pt)、小売業(同▲10.8pt)では大きく悪化した。
- 次期(令和8年4～6月)の自社業況DIは▲7.9(今期比▲4.6pt)と更に悪化する見通し。

自社業況の景況判断 推移 (業種別)



自社の業況DI	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	▲ 3.6	▲ 3.3 (+0.3)	▲ 7.9
建設業	▲ 3.5	0.0 (+3.5)	▲ 1.4
製造業	▲ 5.1	0.0 (+5.1)	▲ 10.5
卸売業	▲ 10.8	▲ 10.0 (+0.8)	▲ 21.7
小売業	▲ 5.9	▲ 16.7 (-10.8)	▲ 16.7
運輸・倉庫業	15.4	0.0 (-15.4)	15.4
サービス業	0.0	1.1 (+1.1)	▲ 3.2
中小企業	▲ 4.4	▲ 4.2 (+0.2)	▲ 8.7

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

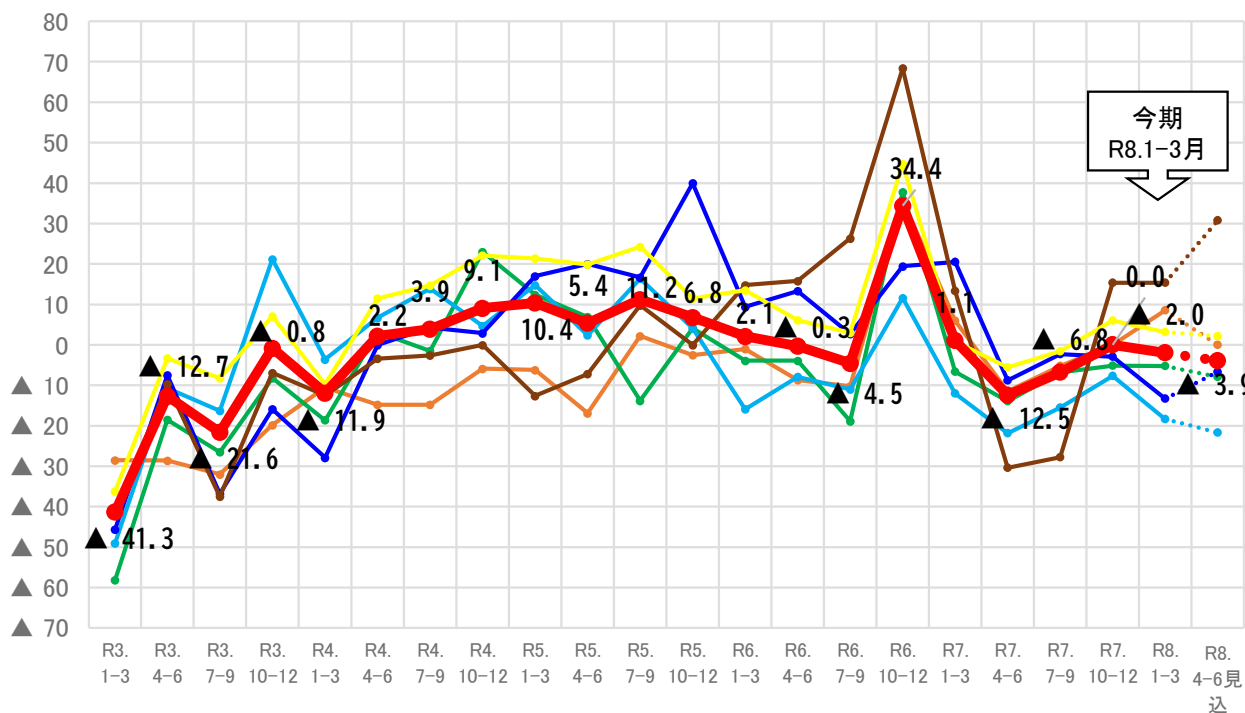
- 売上は好調だが、人件費や原価の上昇により営業利益率が下がっている。(小売業：食料品小売業)

3-2. 生産額・売上額・完成工事高

生産額・売上額・完成工事高DIはマイナス値へと転じた。次期はさらに悪化の見通し。

- 生産額・売上額・完成工事高DIは▲2.0(前期比▲2.0pt)と悪化。
- 業種別では、建設業、運輸・倉庫業以外の業種で下落。最も下落したのは卸売業(前期比▲10.6pt)、次いで小売業(同▲10.4pt)、サービス業(同▲2.8pt)、製造業(同▲0.2pt)。
- 次期(令和8年4~6月)は▲3.9(今期比▲1.9pt)と、さらに悪化の見通し。

生産額・売上額・完成工事高 推移 (業種別)



生産額・売上額 完成工事高DI	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	0.0	▲ 2.0 (-2.0)	▲ 3.9
建設業	0.0	8.6 (+8.6)	0.0
製造業	▲ 5.1	▲ 5.3 (-0.2)	▲ 7.9
卸売業	▲ 7.7	▲ 18.3 (-10.6)	▲ 21.7
小売業	▲ 2.9	▲ 13.3 (-10.4)	▲ 6.7
運輸・倉庫業	15.4	15.4 (±0.0)	30.8
サービス業	6.0	3.2 (-2.8)	2.1
中小企業	▲ 0.3	▲ 3.5 (-3.2)	▲ 6.3

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

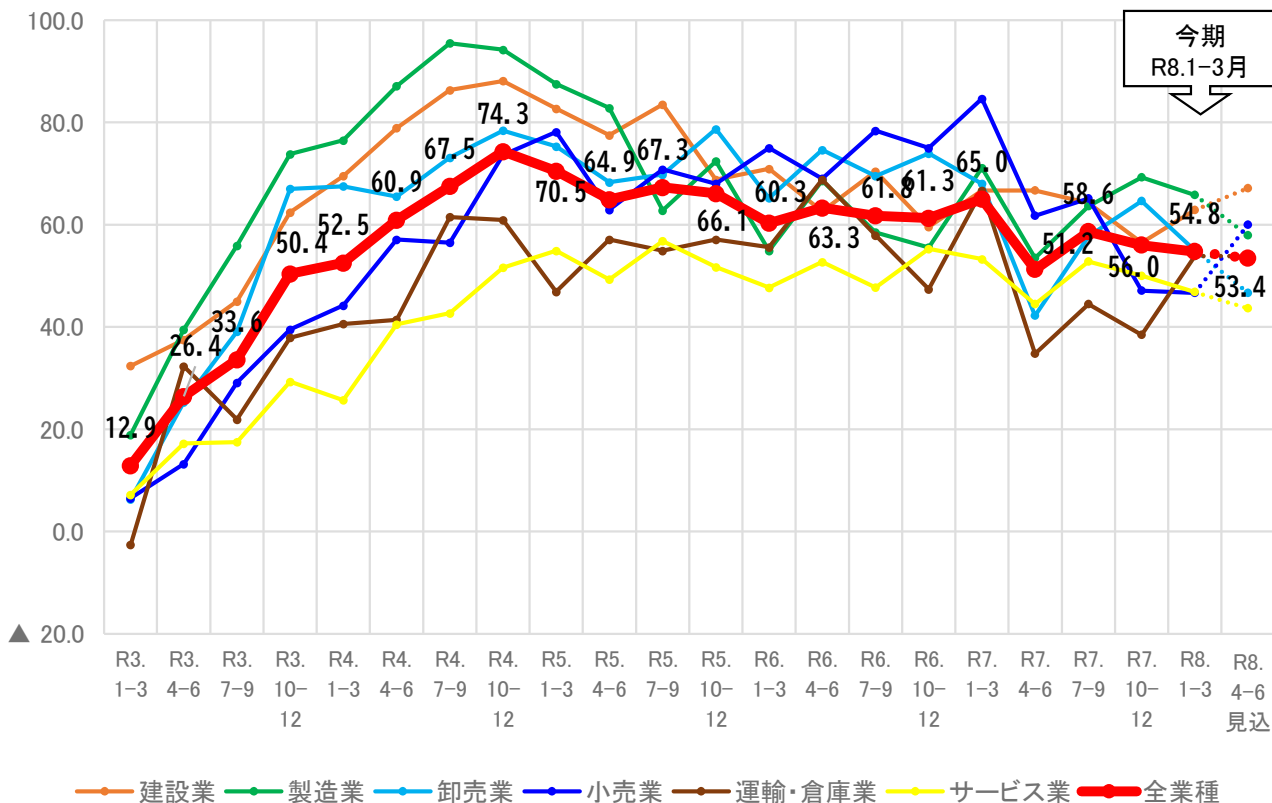
- 取引先からの受注案件減少に加え、周辺地域への大規模店舗進出による競争激化を背景に、取引量・売上ともに落ち込んでいる。加えて、人材確保や処遇改善を目的とした賃上により人件費負担が増大し、収益環境は厳しさを増している。(卸売業：一般機械器具卸売業)

3-3. 原材料・製(商)品仕入価格

原材料・製(商)仕入価格DIは低下。次期も低下を見込むも、依然として高水準で推移する見通し。

- 原材料・製(商)品仕入価格DIは+54.8(前期比▲1.2pt)と低下。
- 業種別では、運輸・倉庫業(前期比+15.3pt)、建設業(同+6.4pt)で上昇。
- 次期(令和8年4~6月)は+53.4(今期比▲1.4pt)と3期連続で低下する見通し。

原材料・製(商)品仕入価格 推移 (業種別)



原材料・製(商)品仕入価格DI	前期 (R7. 10-12)	今期 (R8. 1-3)	次期予測 (R8. 4-6見込)
全業種	56.0	54.8 (-1.2)	53.4
建設業	56.5	62.9 (+6.4)	67.1
製造業	69.2	65.8 (-3.4)	57.9
卸売業	64.6	55.0 (-9.6)	46.7
小売業	47.1	46.7 (-0.4)	60.0
運輸・倉庫業	38.5	53.8 (+15.3)	53.8
サービス業	50.0	46.8 (-3.2)	43.6
中小企業	55.2	53.8 (-1.4)	53.1

※前期 (R7. 10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

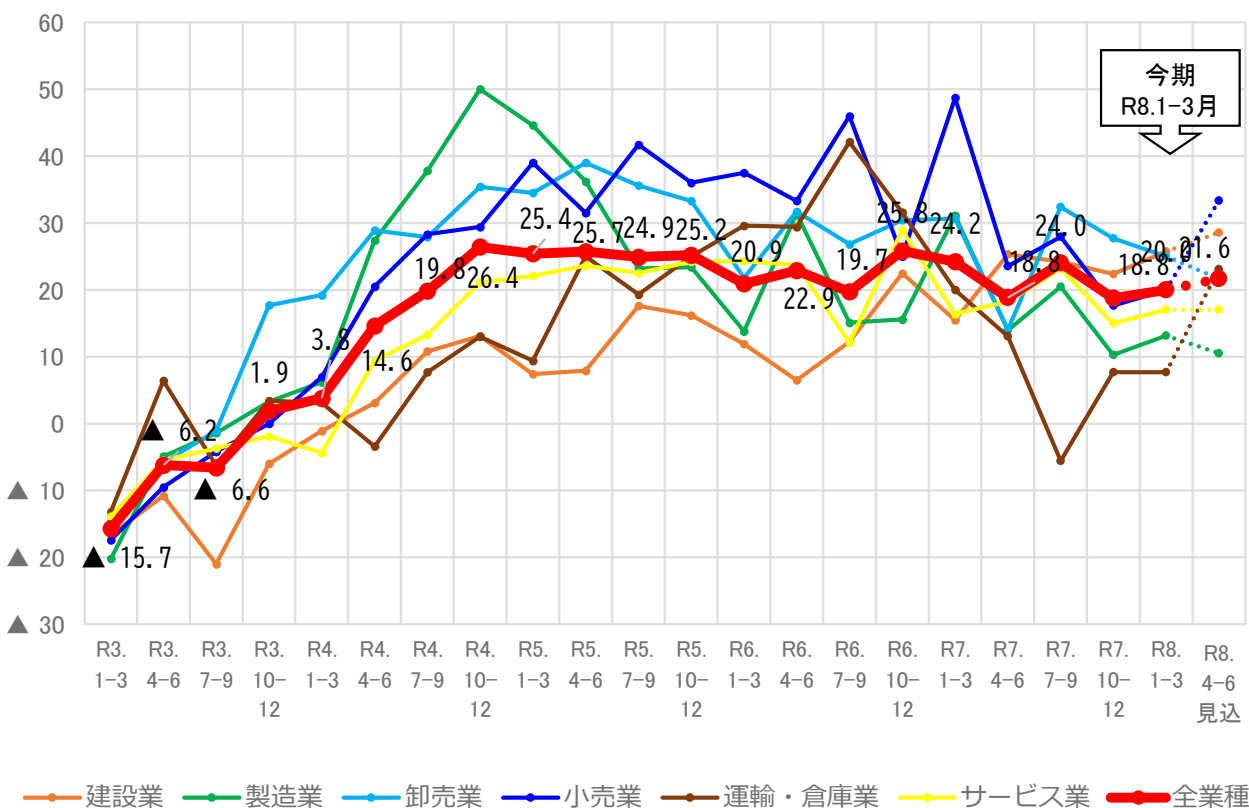
- 年明けから春先にかけて、アメリカおよびロシア産原料の仕入れ入札が開催される。現時点では仕入れ価格そのものの上昇は抑制されているものの、為替レートの影響により、結果として仕入れコストの増加が見込まれる。(卸売業：食料品卸売業)

3-4. 受注価格・販売価格

受注価格・販売価格DIは上昇。次期も上昇の見通し。

- 受注価格・販売価格DIは+20.0(前期比+1.2pt)と低下。
- 業種別では、建設業(前期比+3.3pt)、製造業(同+2.9pt)、小売業(同+2.4pt)で上昇した一方、卸売業(同▲2.7pt)と低下した。
- 次期(令和8年4~6月)は+21.6(今期比+1.6pt)と、2期連続で上昇する見込み。

受注価格・販売価格 推移 (業種別)



受注価格 販売価格DI	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	18.8	20.0 (+1.2)	21.6
建設業	22.4	25.7 (+3.3)	28.6
製造業	10.3	13.2 (+2.9)	10.5
卸売業	27.7	25.0 (-2.7)	21.7
小売業	17.6	20.0 (+2.4)	33.3
運輸・倉庫業	7.7	7.7 (±0.0)	23.1
サービス業	15.0	17.0 (+2.0)	17.0
中小企業	17.8	18.8 (+1.0)	20.8

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

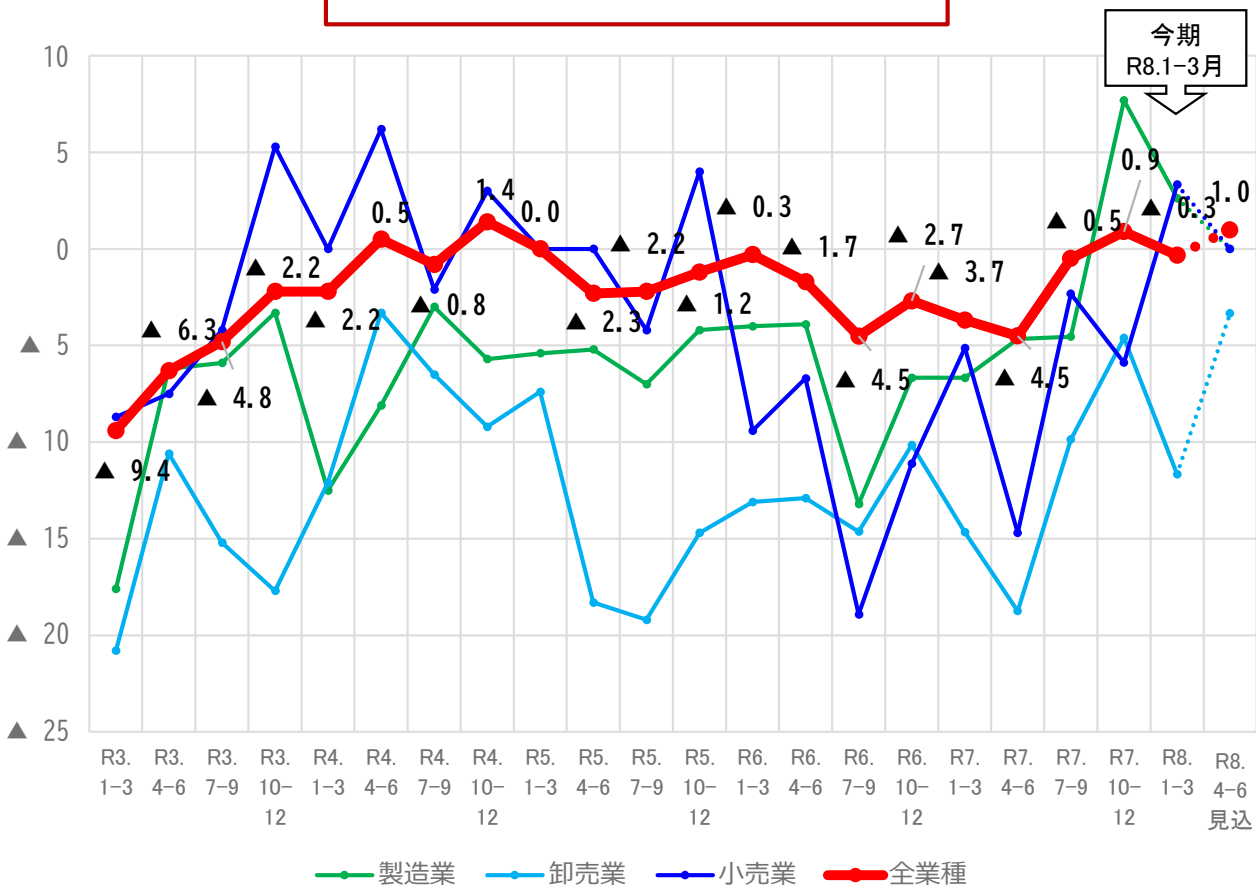
- 大規模工事を受注できる機会はあるものの、仕入れなどに必要な資金の借入が難しく、受注を断念するケースがある。(建設業：土木建設業)

3-5. 製(商)品在庫

製(商)品在庫DIは下落したもののほぼ適正状態を維持。次期も適正状態が続く見通し。

- 製(商)品在庫DIは▲0.3(前期比▲1.2pt)。
- 次期(令和8年4~6月)は+1.0(今期比+1.3pt)と上昇し、適正状態が続く見込み。

製(商)品在庫推移(業種別)



製(商)品在庫DI	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	0.9	▲ 0.3 (-1.2)	1.0
製造業	7.7	2.6 (-5.1)	0.0
卸売業	▲ 4.6	▲ 11.7 (-7.1)	▲ 3.3
小売業	▲ 5.9	3.3 (+9.2)	0.0
中小企業	1.3	0.0 (-1.3)	1.4

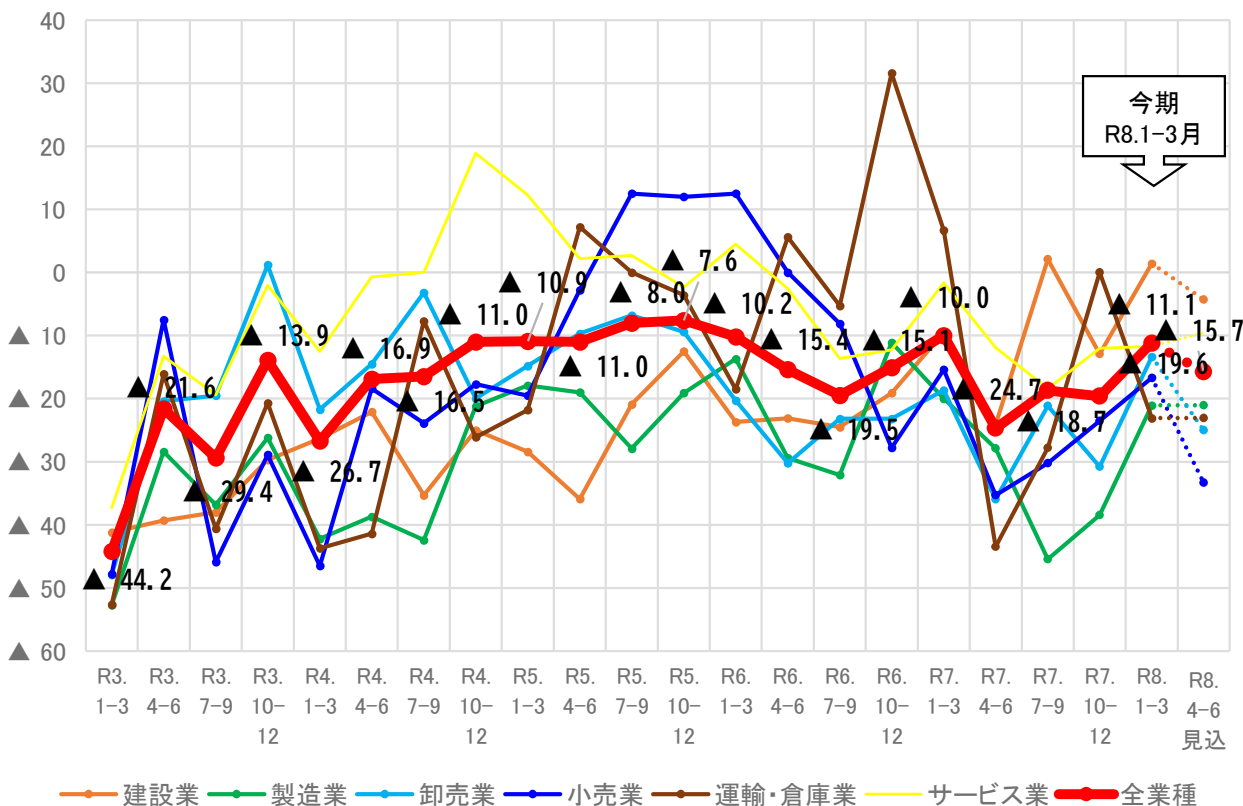
※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

3-6. 営業利益

営業利益DIは改善。次期は悪化する見通し。

- 営業利益DIは▲11.1(前期比+8.5pt)で改善。
- 業種別では、卸売業(前期比+17.5pt)、製造業(同+17.4pt)、建設業(同+14.3pt)が大幅に改善。続いて小売業(同+6.8pt)、サービス業(同+0.3pt)が改善された一方、運輸・倉庫業(同▲23.1pt)が大幅に悪化した。
- 次期(令和8年4~6月)は▲15.7(今期比▲4.6pt)と悪化する見通し。

営業利益 推移 (業種別)



営業利益DI	前期 (R7. 10-12)	今期 (R8. 1-3)	次期予測 (R8. 4-6見込)
全業種	▲ 19.6	▲ 11.1 (+8.5)	▲ 15.7
建設業	▲ 12.9	1.4 (+14.3)	▲ 4.3
製造業	▲ 38.5	▲ 21.1 (+17.4)	▲ 21.1
卸売業	▲ 30.8	▲ 13.3 (+17.5)	▲ 25.0
小売業	▲ 23.5	▲ 16.7 (+6.8)	▲ 33.3
運輸・倉庫業	0.0	▲ 23.1 (-23.1)	▲ 23.1
サービス業	▲ 12.0	▲ 11.7 (+0.3)	▲ 9.6
中小企業	▲ 19.7	▲ 12.2 (+7.5)	▲ 16.7

※前期(R7. 10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

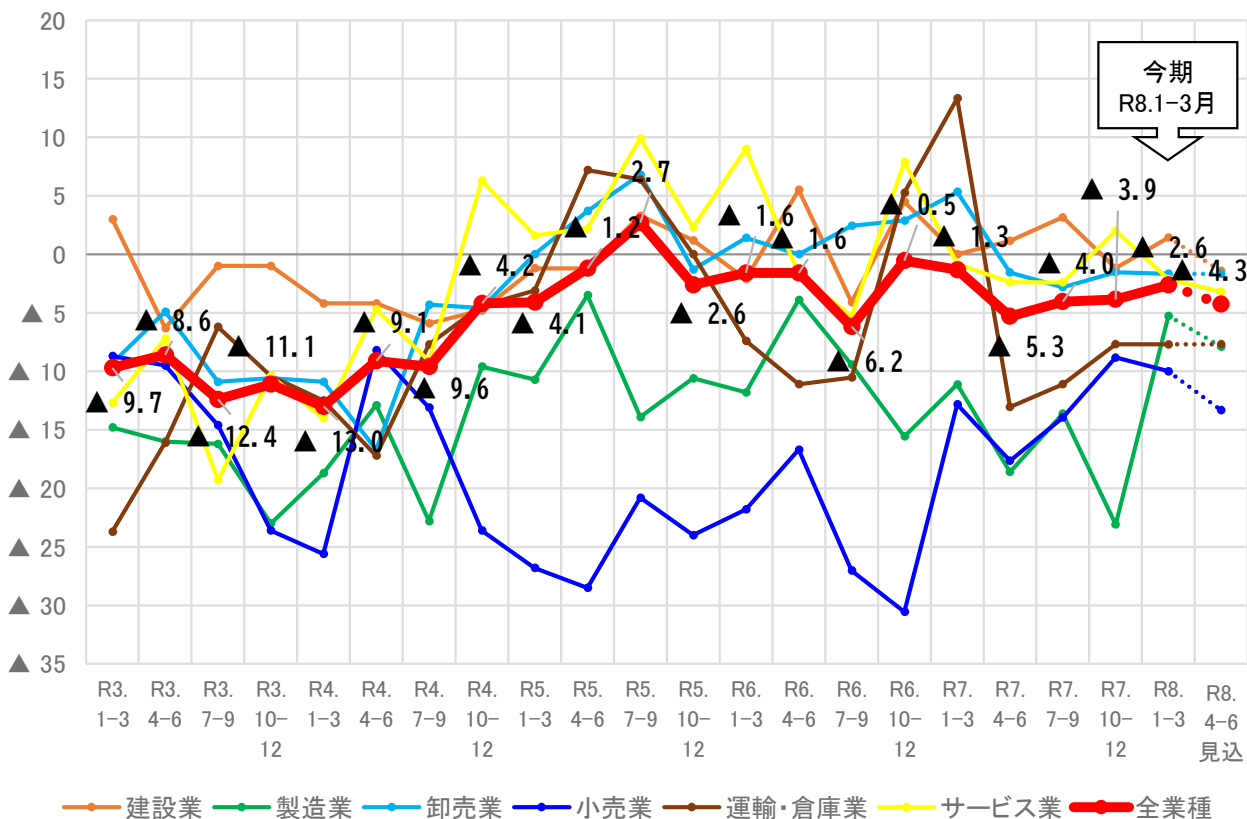
- 物価上昇の影響により、原材料費、製造費、各種経費はいずれも増加傾向にある。納入価格は、半年から1年前の原材料価格を基に算定しているため、足元のコスト上昇が価格に反映されるまでに時間がかかり、現在の価格上昇分の反映が遅れ、利益が圧迫されている。(卸売業：石油・化学製品卸売業)

3-7. 資金繰り

資金繰りDIは3期連続で改善。

- 資金繰りDIは▲2.6(前期比+1.3pt)と3期連続で改善。
- 業種別では、製造業(前期比+17.8pt)が大幅に改善した一方、サービス業(同▲4.1pt)では悪化。
- 次期(令和8年4~6月)は▲4.3(今期比▲1.7pt)と、悪化の見通し。

資金繰り 推移 (業種別)



資金繰りDI	前期 (R7.10-12)	今期 (R8.1-3)	次期予測 (R8.4-6見込)
全業種	▲ 3.9	▲ 2.6 (+1.3)	▲ 4.3
建設業	▲ 1.2	1.4 (+2.6)	▲ 1.4
製造業	▲ 23.1	▲ 5.3 (+17.8)	▲ 7.9
卸売業	▲ 1.5	▲ 1.7 (-0.2)	▲ 1.7
小売業	▲ 8.8	▲ 10.0 (-1.2)	▲ 13.3
運輸倉庫業	▲ 7.7	▲ 7.7 (±0.0)	▲ 7.7
サービス業	2.0	▲ 2.1 (-4.1)	▲ 3.2
中小企業	▲ 6.0	▲ 3.8 (+2.2)	▲ 4.9

※前期(R7.10-12月期)は前回調査結果。今期の()内は、前期比。

事業者の声(一部抜粋)

- 官公庁からの公共工事発注が減少し、受注量が落ち込み、資金繰りが厳しい状況となっている。(建設業：電気・管工事業)

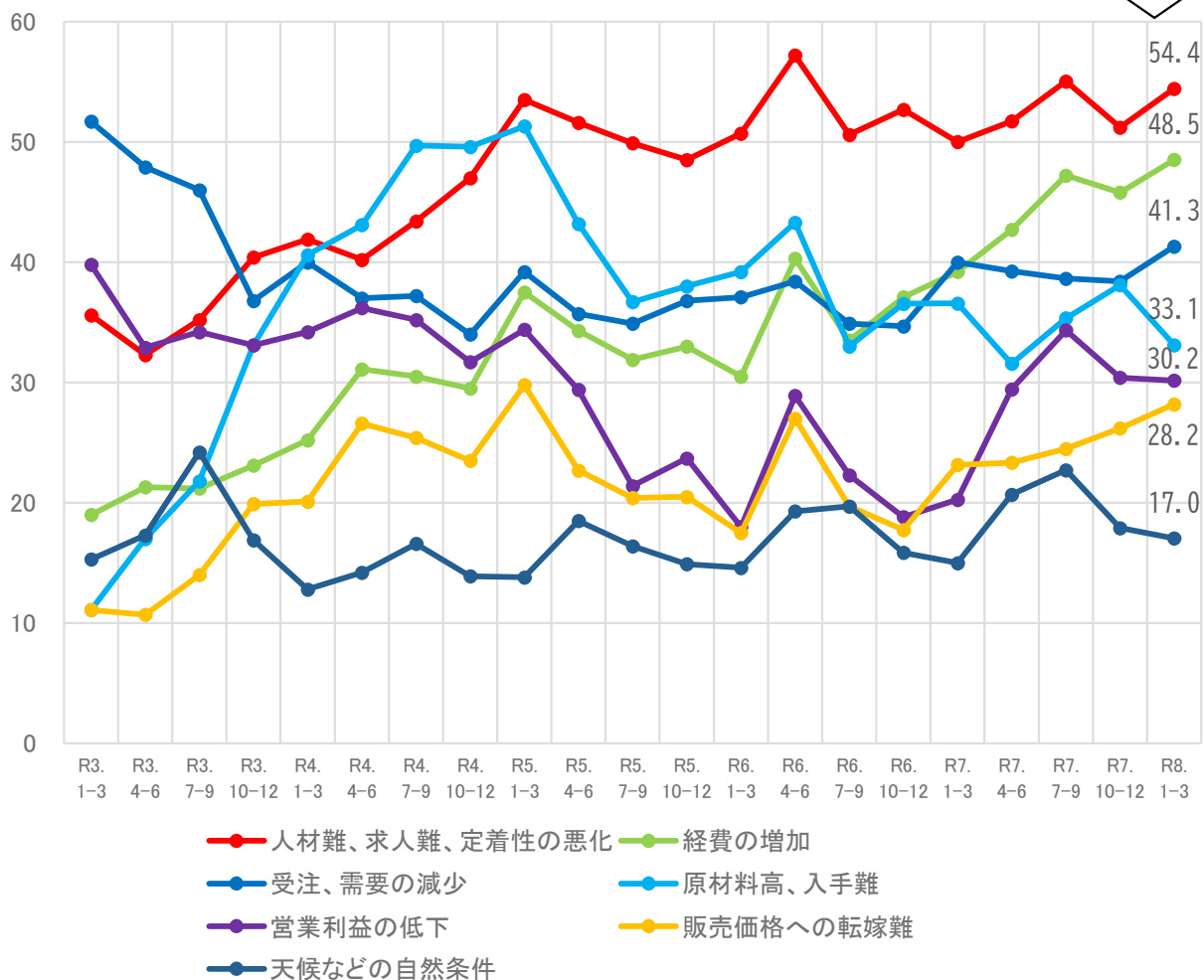
3-8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点は、13期連続で「人材難、求人難、定着性の悪化」が最多に。

- 「人材難、求人難、定着性の悪化」が54.4%(前期比+3.2pt)と最も高い割合を占めた。
- 今期は「経費の増加」(同+2.7pt)「受注、需要の減少」(同+2.9pt)、「販売価格への転嫁難」(同+2.0pt)をあげる割合が増えた。

経営上の問題点 推移 (上位7項目・全業種)

今期
R8.1-3月

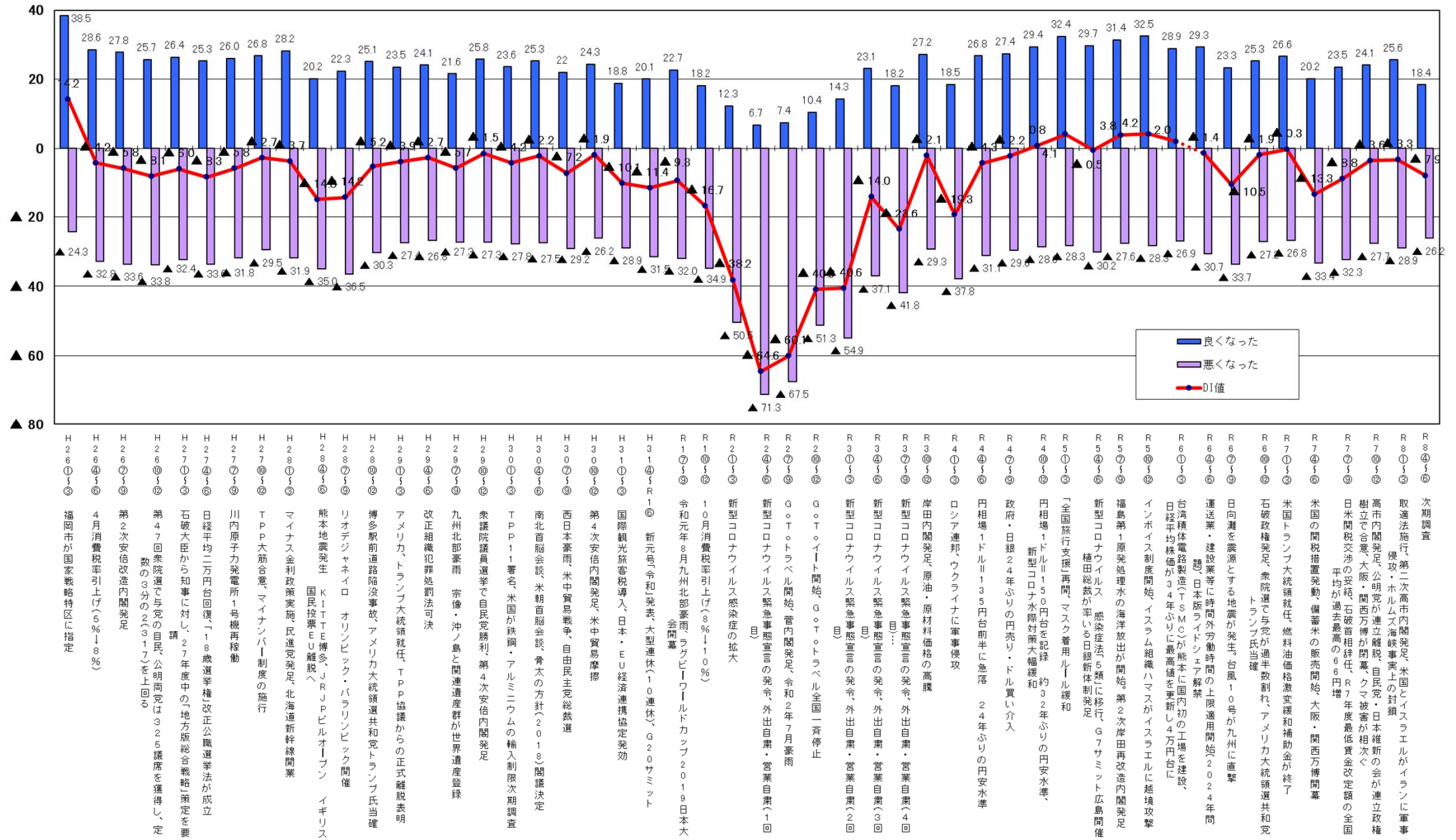


経営上の課題 (業種別) (単位 %)	全業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	運輸・倉庫業	サービス業
人材難、求人難、定着性の悪化	54.4	64.3	34.2	56.7	53.3	84.6	50.0
経費の増加	48.5	41.4	50.0	55.0	60.0	46.2	45.7
受注、需要の減少	41.3	48.6	52.6	48.3	30.0	23.1	33.0
原材料高、入手難	33.1	45.7	57.9	26.7	36.7	15.4	19.1
営業利益の低下	30.2	25.7	39.5	33.3	46.7	30.8	22.3
販売価格への転嫁難	28.2	17.1	39.5	35.0	33.3	46.2	23.4
天候などの自然条件	17.0	20.0	7.9	21.7	20.0	30.8	12.8

事業者の声(一部抜粋)

- 中東情勢の影響で原材料価格のさらなる上昇が見込まれており、収益環境の先行きは不透明である。(製造業：電気機械器具製造業)
- 若手人材の早期離職が続き、人材確保が困難な状況。人員不足により事業継続への不安が高まっている。(サービス業：情報処理サービス業)
- 価格高騰に伴う消費者の買い控えにより、関係資材(当社取扱品)の使用数・納入数が減少し、売上が低下している。仕入価格は上昇しているものの販売価格への転嫁が追いつかず、仕入と販売の価格改定時期ズレが生じるため一時的に当社でコストを吸収せざるを得ない。(小売業：その他小売業)

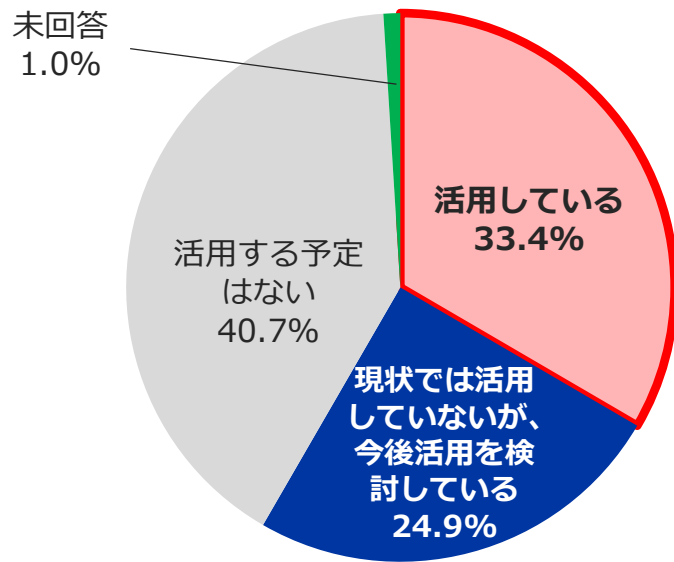
<参考> 自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)



〈付帯調査〉 省人化投資について - 生成AIの業務への活用状況

- 生成AIの業務への活用状況について、約3割(33.4%)の事業者が「活用している」と回答した。また、「現状では活用していないが、今後活用を検討」が24.9%となり、これらを合わせると約6割の企業が生成AIの活用に向向きの姿勢を示している。
- 活用の内訳をみると、「特定部門で活用」が43.1%と最も多く、「希望者のみ活用」が37.4%、「全社的に活用」は19.8%にとどまり、限定的な活用が中心となっている。
- 業種別では、生成AIを活用している企業は「サービス業」が45.7%と最も多く、「建設業」「製造業」「小売業」で約3割程度。「運送業」では、「活用する予定はない」が84.6%と業種別による活用状況の差がみられる。

〈生成AIの業務への活用状況〉 ※全業種 n=305

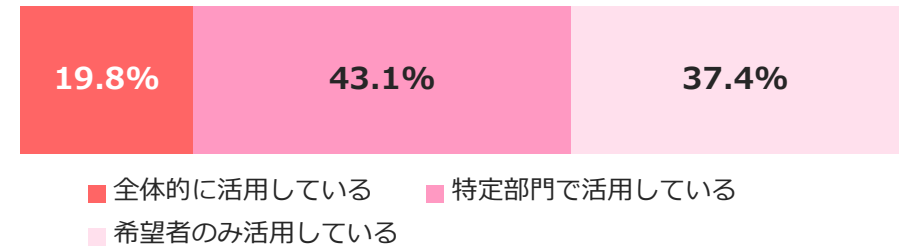


※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

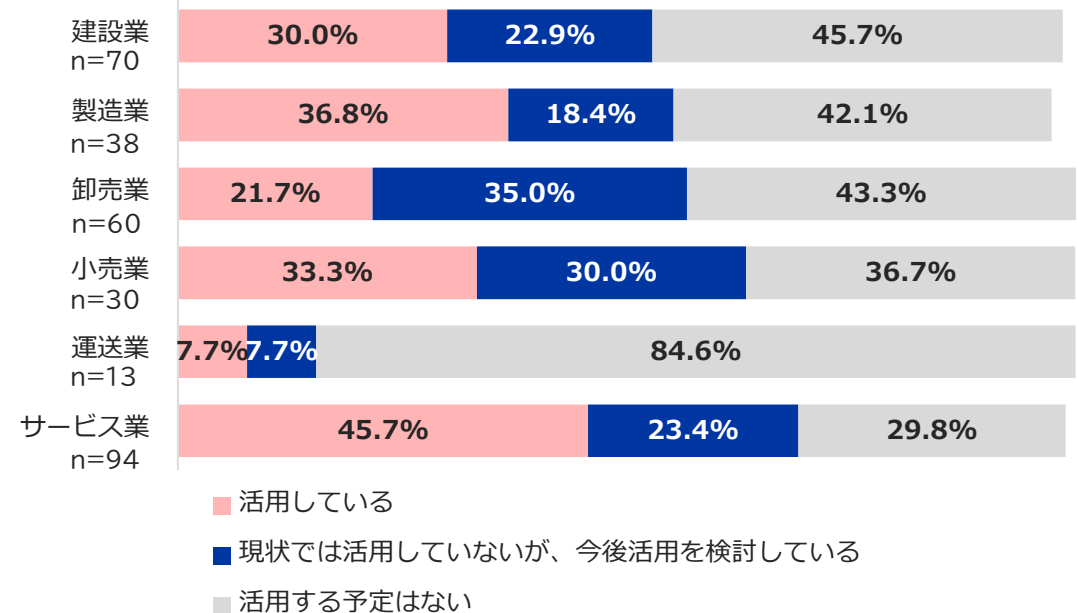
事業者の声(一部抜粋)

- 一部の社員が試行的に取り組むとともに、その成果を他の社員へ展開しようとしている。(卸売業：繊維製品卸売業)
- 積極的に導入は検討したいが、どのような活用が出来るのかよく理解出来ていない。(サービス業：ホテル・旅館・飲料業)

(活用企業の内訳) n=102



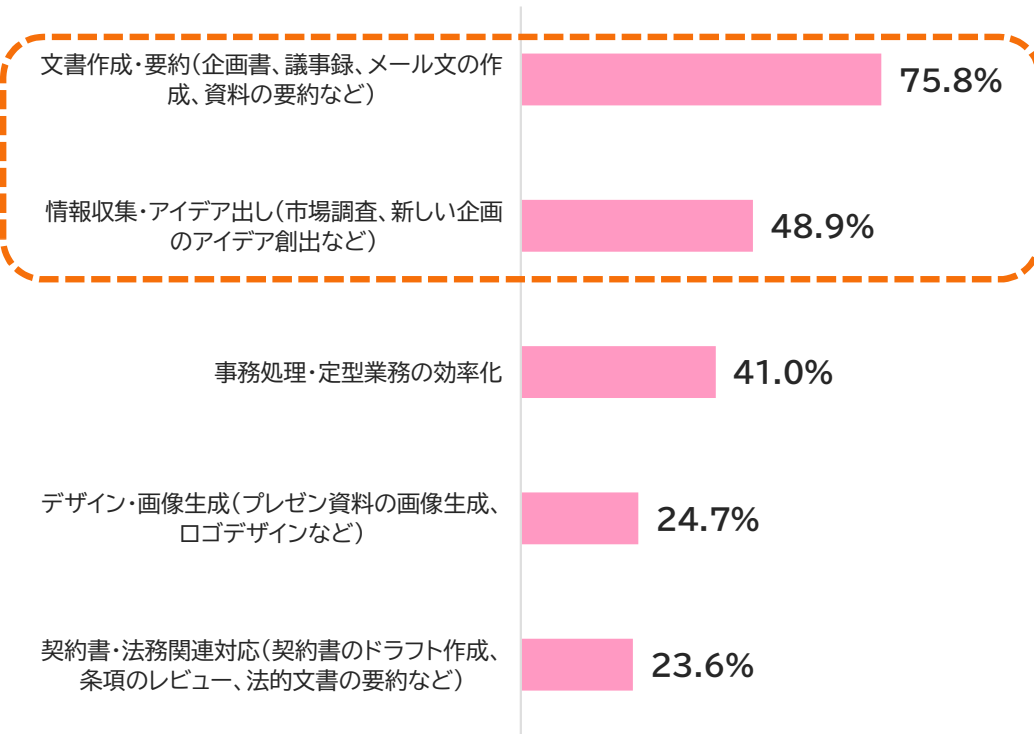
(業種別の内訳)



〈付帯調査〉 省人化投資について - 生成AIを活用している業務と生成AI活用の課題

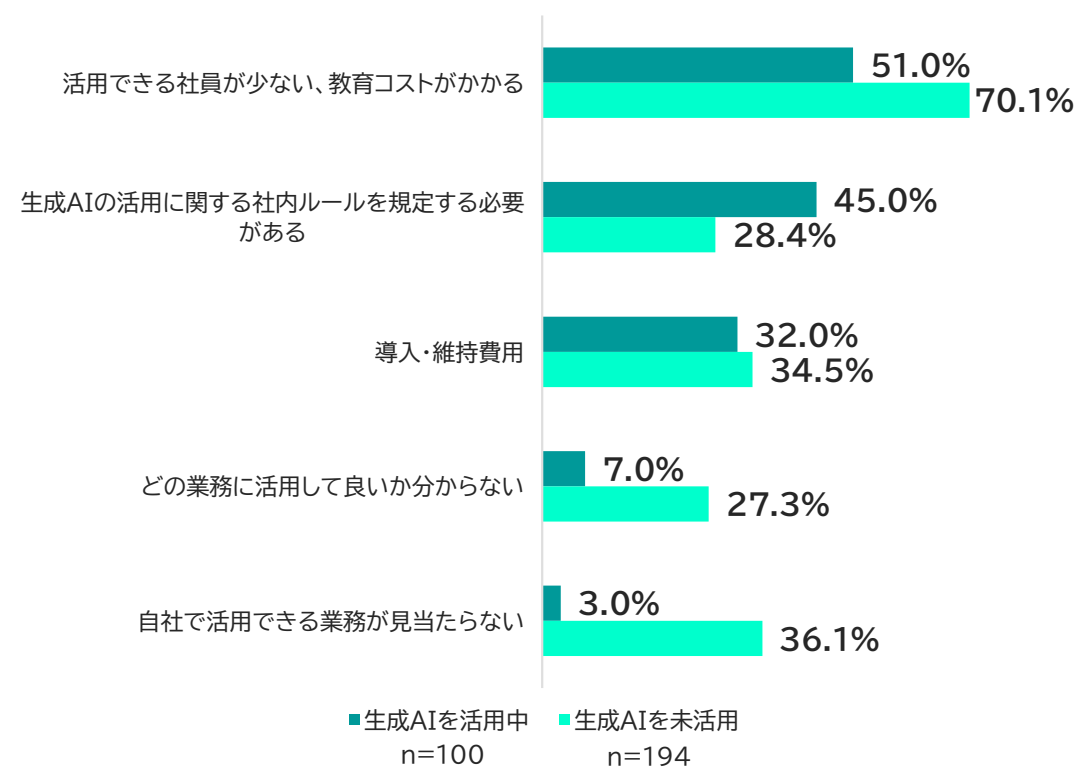
- 生成AIを活用している業務のうち、7割(75.8%)が「文書作成や要約」で最多となり、次いで「情報収集・アイデア出し」(48.9%)。また、「事務処理・定型業務の効率化」(41.0%)など、比較的導入しやすい業務から活用が進んでいる。
- 生成AIの活用における課題については、活用の有無にかかわらず、「活用できる社員が少なく、教育コストがかかる」が最も多く挙げられた。ただし、その割合は、活用している企業では51.0%であるのに対し、活用していない企業では70.1%と大きく上回っている。また、活用している企業では、次いで「社内ルールを規定する必要がある」(45.0%)が上位に挙げられた。一方、活用していない企業では、「自社で活用できる業務が見当たらない」(36.1%)、「導入・維持費用」(34.5%)、「社内ルールを規定する必要がある」(28.4%)が続いた。

〈生成AIを活用している業務（複数回答）〉



※活用している(全社的に活用、特定部門で活用、希望者のみ活用)、現状では活用していないが、今後活用を検討していると回答した企業が対象
※複数回答、上位5位

〈生成AI活用の課題（複数回答）〉



※生成AIを活用中:活用している(全社的に活用、特定部門で活用、希望者のみ活用)と回答した企業
生成AIを未活用:「現状では活用していないが、今後活用を検討している」「活用する予定はない」と回答した企業
※複数回答、「生成AIを活用中」または「生成AIを未活用」のいずれかで上位5位の項目を掲載



おせっかいを誇りとします。

福岡商工会議所